

JFA 第46回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 道東ブロック大会

開 催 要 項

2022年8月30日更新（修正箇所を赤字で表示）

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、本大会を実施し、北海道大会へ道東ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 JFA 第46回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 道東ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
4. 主 管 釧路地区サッカー協会
5. 後 援 鶴居村教育委員会
6. 特別協賛 ※調整中
7. 協 賛 YKK 花王 日清オイリオグループ ゼビオ 日本マクドナルド
8. 協 力 モルテン
9. 期 日 2022年9月24日(土)
10. 会 場 【鶴居村多目的運動広場】(住所＝阿寒郡鶴居村鶴居東6丁目25番地)
11. 参加資格
 - (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。道東地区4ブロック(十勝、釧路、網走、根室)の予選を経て、所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
 - (2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
 - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会登録第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
*「加盟チーム」とは、12歳未満の選手により構成されるチームである。ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。
 - (4) 地区予選から全国大会に至るまで、同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
 - (5) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内の他の加盟チームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。
 - (6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。当該チームの地区予選への登録選手が20人に満たない場合は、地区予選で敗退したチームの選手を含めて、同一「加盟チーム」内の選手の中から補充し登録することができる。
*登録選手20名の中から、チームが指定した16名の選手のみが、大会を通して出場することができる。(選手指定は、監督会議の際に行い、それ以降は変更できないものとする。)
 - (7) 参加チームはU-12リーグに参加していること。ただし、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属するU-12リーグが開催されない場合、本項を適用外とする。
 - (8) 引率指導者(チーム役員)の登録は、6名以内とする。引率指導者とは「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りする引率指導者(チーム役員)は試合ごとに2名以上3名以下とし、うち2名以上は(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
*全国大会の要項においては、以下のような要項になる予定なので注意すること。『チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、選手への戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ等)は、全員が本協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。』
*第48回大会以降、全国大会では、「戦術的な指示やコーチングを行うチーム役員(監督・コーチ等)は、全員がD級コーチライセンス以上を有し、かつ、少なくとも1名はC級コーチライセンスを有すること。」という要項になる予定なので、準備を進めること。

- (9) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (10) 「参加チーム」は必ず「傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険など)等」に加入していること。
12. 参加チーム及びその数
- (1) ○十勝地区～4チーム
○釧路地区～3チーム
○網走地区～3チーム
○根室地区～2チーム 計12チームとする。
- (2) 本年度の開催地である釧路地区には開催地枠1が含まれる。
13. 競技規則
- (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」による。ただし、詳細に関しては、本大会用として競技方法に定める。
14. 競技方法
- (1) 12チームによる3ブロック(1ブロック4チーム)トーナメント戦を行う。
- (2) 競技のフィールド
○フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mを原則とする。
○ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
○その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
- (3) 試合球
試合球は少年用公認4号球とする。
- (4) 競技者の数および交代
○競技者の数は、1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。)
○登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
○交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
○交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。主審、補助審判の承認を得る必要はない。
○ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
○交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (5) テクニカルエリアは設置しない。
- (6) ベンチ入りの人数
○交代要員8名、ベンチ入りするチームの役員数は2名以上3名以下とする。
*これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会より懲罰を科す。
○その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (7) 試合時間
○試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は原則10分とする。
○既定の試合時間内で勝敗が決しない場合は、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、代表決定戦においては、前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。
○延長戦に入る前のインターバルは、原則5分間、PK方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。
- (8) 暑熱下において、前・後半中に飲水タイムを採用する。(採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員へ伝える。)
- (9) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数:2名以内
15. ユニフォーム
- (1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、(2)以下については、一部本大会(北海道大会)の緩和規定として採用する。
*あくまで(公財)北海道サッカー協会4種委員会の緩和規定であるので、全国大会は、この限りではないので注意。また、ブロック大会においては、以下の原則を順守するものとする。

- (2) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行し、いずれかを着用しなければならない。(FP・GK用共)。ユニフォームは、(公財)北海道サッカー協会に登録されたものを原則とする。
*なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
- (3) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
- (4) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (6) アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (7) Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号(10)に進じる。
- (8) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- (9) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (10) ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
*公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。ただし、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

16. 審判員

主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。
*グリーンカードを積極的に採用するように心がける。

17. マッチウェルフェアオフィサー

全ての試合において配置する。

18. 懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会の地区予選で受けた警告については、累積として本大会には、持ち越さないものとする。
- (3) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (4) 大会規律委員会の委員長は、主管地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (5) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (6) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (7) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。

19. 参加料

11,880円(税込)

20. 参加申込み

参加チームは以下の手続きを期日まで完了すること。

- (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
 所定の用紙をEメールで申込先Aの所属地区サッカー協会に提出する。
 申込みを受けた地区協会はKICKOFFにて登録状況を確認し、申込先B宛てにデータを提出すること。同時にプライバシーポリシー同意書も提出すること。
 ※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
- (2) 大会参加料(11,880円)の納入
 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。
- (3) 親権者同意書の提出 捺印のうえ大会当日に本部に提出すること。
- (4) 参加申込み締切り 2022年9月12日(月)17時必着とする。

【申込先】 A：所属地区サッカー協会

B：釧路地区サッカー協会

〒085-0003 釧路市川北町7番17号

宮谷 道春 気付 釧路地区サッカー協会

Tel&FAX 0154-25-7228 E-mail : kushiro-fa-m@vesta.ocn.ne.jp

【大会参加料及び審判不帯同料振込口座】

北海道銀行 鳥取支店

普通口座 0541835

釧路地区サッカー協会 会長 三森敏司(ミモリトシジ)

・大会参加料 11,880円(消費税込み)

・不帯同審判料 7,560円(消費税込み)

21. 組合せ 2022年9月14日(水)に作成する。(道東ブロック第4種代表者会議確認のとおりとする)
 組合せは各地区協会に送付する。各地区協会より参加各チームに送付すること。
 釧路地区サッカー協会ホームページ上でも確認できる。
 URL <http://www.kushiro-fa.com/>
22. 帯同審判 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(3級以上)を帯同させること。
 帯同する審判員の氏名、資格などを参加申込書に記載すること。
 (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。(監督が帯同審判員を兼ねることはできない。)
 (3) 帯同できない場合は、不帯同料として7,560円を大会参加料と同時に納入すること。
23. 選手証 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。
 選手証とは、本大会では、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
24. 監督会議 2022年9月24日(土)午前8時45分より大会本部で行う。監督は必ず出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
 *ただし、感染症の状況によっては、実施をせずに、事前に大会本部より文書にて注意事項や確認事項の周知を行うこと、または、大会前々日にオンラインで開催することもある。
25. 開会式 行わない。
26. 閉会式 日程終了後、大会本部前で行う。
 各ブロック優勝チームの選手・監督は全員参加することとする。
 *ただし、感染症の状況によっては、実施しない場合や簡素化して行う場合もある。
27. その他 (1) 優勝チームは2022年10月8日(土)~9日(日)に栗山町で開催される予定の北海道大会(JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会)への参加を義務付ける。なお、優勝チームが新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合、準優勝チームが繰り上げて参加することができる。
 (2) 当該チームの道東ブロック大会での登録数が20名に満たない場合は、同一クラブ内の選手から補充することができる。(全国大会は、1次登録選手は、最大20名、役員は上限なしだが、最終登録段階で選手16名、役員6名と絞ることになるので、注意。)
 (3) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。

- (4) 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。
- (5) 本大会は大会期間を通じて「感染対策担当者」を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
- (6) 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は本大会実行運営委員会（主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成）において協議のうえ対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (7) 練習等行動を共にしたエントリー外選手や関係者が、本大会開始前7日以内に下記いずれかの状況となった際には、（公財）北海道サッカー協会事務局に報告すること。（主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該チームの大会参加の可否について検討する。）
 - ① 発熱等の健康異常がおきた場合
 - ② PCR検査や抗原検査で陽性と判定された場合
 - ③ PCR検査の判定を待っている場合
 - ④ 濃厚接触者と判定された場合
- (8) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。

以上